

管内月間火山概況（平成 21 年 4 月）

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（4 月 30 日現在）

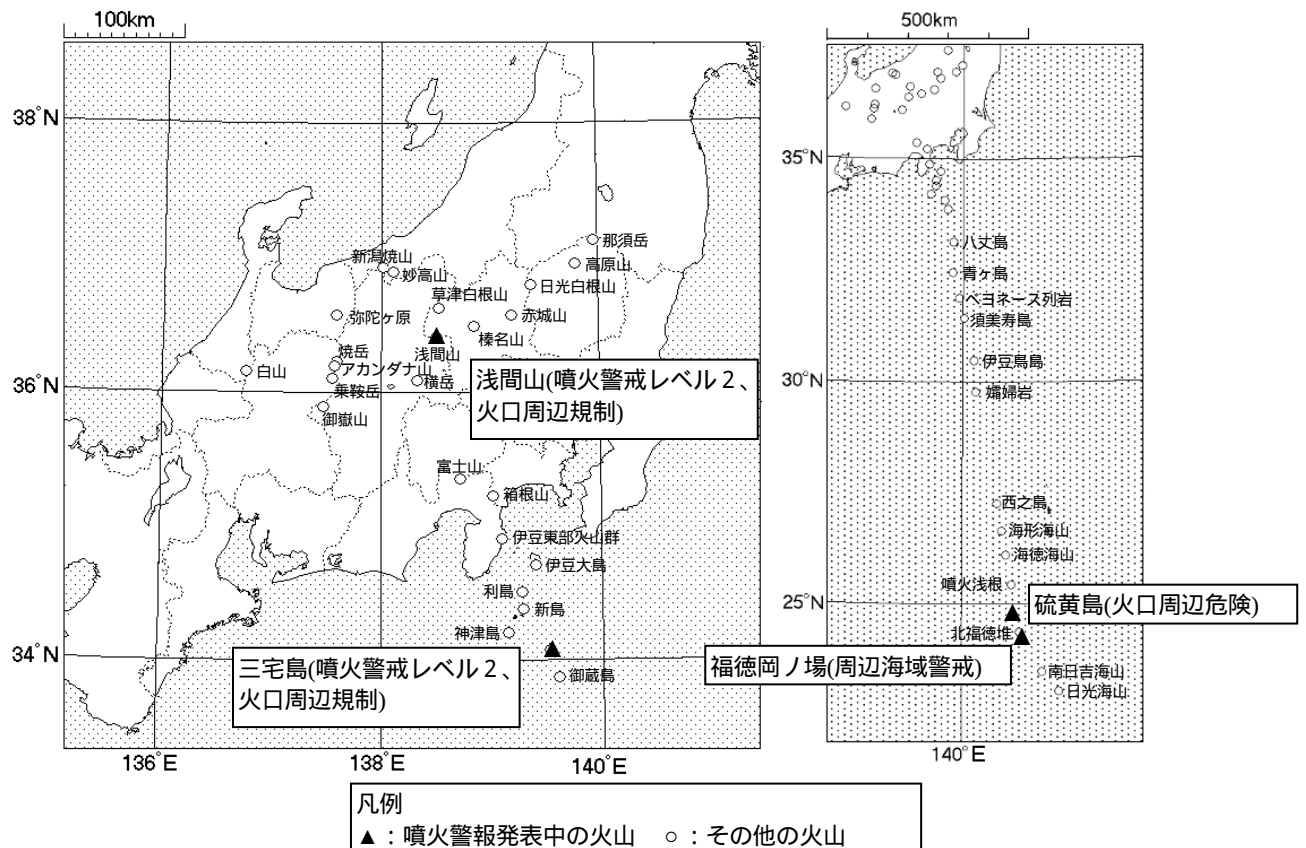
火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）：浅間山、三宅島

火口周辺警報（火口周辺危険）：硫黄島

噴火警報（周辺海域警戒）：福徳岡ノ場

噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）：那須岳、草津白根山、御嶽山、富士山、箱根山、伊豆大島

噴火予報（平常）：高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、新潟 焼山、妙高山、弥陀ヶ原、焼岳、アカダナ山、乗鞍岳、白山、伊豆東部火山群、利島、新島、神津島、御蔵島、八丈島、青ヶ島、ペリネース列岩、須美寿島、伊豆島、嬬婦岩、西之島、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福徳堆、南日吉海山、日光海山



噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山に導入しています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の管内月間火山概況（平成 21 年 5 月分）は平成 21 年 6 月 9 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土交通省利根川水系砂防事務所、国土交通省金沢河川国道事務所、海上保安庁、第三管区海上保安本部、海上自衛隊、環境省インターネット自然研究所、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、東京工業大学、独立行政法人防災科学技術研究所、独立行政法人産業技術総合研究所、東京都、長野県、岐阜県、新潟県及び神奈川県温泉地学研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政区・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 20 業使、第 385 号）。

各火山の活動状況及び予報警報事項

浅間山では、7 日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを 3（入山規制）から 2（火口周辺規制）に引き下げました。草津白根山では山頂から概ね 500m の範囲で、ごく小規模な火山灰等の噴出に警戒が必要なことから、10 日に噴火予報を切り替えました（噴火警戒レベル 1（平常）継続）。その他の火山の予報警報事項に変更はありません。

那須岳〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）〕

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

草津白根山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）〕

湯釜火口内の北壁や水釜火口の北から北東側にあたる斜面でわずかな熱活動の高まりがみられています。今後これらの活動がさらに高まった場合には、山頂火口から概ね 500m の範囲に影響を及ぼすごく小規模な火山灰等の噴出の可能性があることから、10 日 14 時 00 分に噴火予報を切り替えました（噴火警戒レベル 1（平常）継続）。

山頂から概ね 500m の範囲ではごく小規模な火山灰等の噴出に警戒が必要です。また、ところどころで火山ガスの噴出が見られます。周辺の窪地や谷地形などでは高濃度の火山ガスが滞留する事がありますので、注意が必要です。

浅間山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）〕

浅間山では、火山性地震はやや多い状態が継続していますが、2 月 2 日の噴火前にみられた周期の短い火山性地震の増加は認められません。傾斜計による地殻変動観測では、火山活動によるとみられる特段の変化は認められません。火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は依然多い状態が続いているものの、3 月以降減少しています。

これらのことから、山頂火口から 4 km の範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性は低くなったと判断し、4 月 7 日 13 時 00 分に火口周辺警報を発表して、噴火警戒レベルを 3（入山規制）から 2（火口周辺規制）に引き下げました。

浅間山では、今後も山頂火口から概ね 2 km の範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性がありますので、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。また、風下側では、降灰および風の影響を受ける小さな噴石に注意が必要です。

新潟焼山〔噴火予報（平常）〕

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

御嶽山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）〕

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

白山〔噴火予報（平常）〕

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

富士山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）〕

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

箱根山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）〕

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

伊豆東部火山群〔噴火予報（平常）〕

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

伊豆大島〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）〕

地下深部へのマグマ注入によると考えられる長期的な島全体の膨張傾向が継続しています。

今後の火山活動に注意する必要がありますが、現在は静穏な状況で、三原山山頂火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

三宅島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）〕

多量の火山ガス放出及び火山性地震のやや多い状態が続いています。

火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、山頂火口周辺（雄山環状線内側）では噴火に対する警戒が必要です。また、火山ガス予報で火山ガスの濃度が高くなる可能性があるとして予想される地域では火山ガスに対する警戒が必要です。降雨時には土石流にも注意が必要です。

八丈島〔噴火予報（平常）〕

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

硫黄島〔火口周辺警報（火口周辺危険）〕

独立行政法人防災科学技術研究所の観測によると、地震活動は落ち着いた状態で経過しています。国土地理院の観測によると、2006 年 8 月以降見られている島全体が隆起する地殻変動は現在も継続しています。

硫黄島では引き続き火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、従来から小規模な噴火がみられていた領域では噴火に対する警戒が必要です。

福徳岡ノ場〔噴火警報（周辺海域警戒）〕

海上保安庁海洋情報部、第三管区海上保安本部及び海上自衛隊による上空からの観測では、これまでも福徳岡ノ場付近の海面に、長期にわたり火山活動によるとみられる変色水等が確認されています。

福徳岡ノ場では小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では警戒が必要です。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められず、予報警報事項に変更はありません。